

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	海岸公園の一部(冒険広場及びキャンプ場を含む。)	
2 指定管理者	冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体	
3 指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 125,825人(前年度比 78.7%)デイキャンプ場(2,393サイト14,348人) 令和4年度 159,799人(デイキャンプ場利用数:3,052サイト16,653人) 令和3年度 122,843人(デイキャンプ場利用数:1,817サイト7,934人 4/1～5/11、8/30～9/12の間、利用休止。他の期間は11/25～11/30を除き27サイト、定員7名での利用)	
	《事業》 ・冒険遊び場の運営 ・子育て・子育て支援事業 ・環境学習事業 ・文化伝承事業 ・市民参加交流事業 ・防災・減災の普及啓発事業 ・地域連携事業 ・普及啓発事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 26,766千円 (27,362千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 1,200千円 (1,501千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ① 来園者アンケートの実施 ② 海岸公園冒険広場運営委員会を組織し、半年に1回、地域や地域施設、関連機関からの意見を聞くこととしている。	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の目的等を職員が良く理解し、運営を行っている。 夏は日陰を作る等の暑さ対策を兼ねた水遊び、冬には凧あげや氷遊びなどを行い利用率向上にもつなげている。 自主事業において積極的に地域と連携し、顔の見える関係を構築、公園利用にも結び付けている。	27/24
II 施設の運営管理体制	事業計画書に基づき、施設の管理運営を行っている。各種マニュアルを取りそろえ、事故発生時などの対応体制を構築している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設や設備の保守点検、清掃を適切に行い、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。また、環境への配慮から、節電・節水に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	ホームページでデイキャンプサイトの利用状況や強風等天候の状況を案内し、利用者目線に立った情報提供に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	冒険遊び場を中心に、さまざまな道具・材料等を準備して季節に応じた外遊びのきっかけづくりを行ない、園内を広く使って遊んでもらえるように様々な仕掛けを行っている。 さらに行政や地域のイベントに積極的に参加し、地域資源と一体的に公園の魅力を高め、地域全体に賑わい・交流を生む役割を果たしている。	6/4

三 評価総括

《指定管理者（冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体）による自己評価》
<p>2023年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、2022年度と比較するとやや状況が落ち着いてきたと言える。屋外にこだわらず遊びに行けるようになったためか、公園来園者数は減少に転じた。また夏場の暑さも来園者数の減少につながったと思われる。暑さに関しては単にふわふわドームの利用停止などの措置をとるだけではなく、灌水チューブを使った噴水や、手作りのウォータースライダーやプールといった水遊び、日よけネットを使った日影の増設など、管理を強めるだけではなく、暑い中でも遊べるように工夫した。また引き続き園内をひろびろと遊べるようにする工夫（前年度に続きバス駐車場の遊び場としての開放、虫取りなどの遊具以外の遊ぶきっかけづくり）を行い、HPなどで発信して来園者の会得に努めた。</p> <p>自主事業についても、基本的に屋外で行い「密」にならない工夫をしながら再開していった。園内の草花を使っての染物や、市街地と本公園をつなぐ周辺地域での巡回型遊び場も、六郷・七郷地区で行った。またのびすく若林と連携して未就園児向けのイベント等も行った。特に本公園のある井土地区周辺での「ひろびろとした環境を活かした遊び場」については通年で実施し、町内会やまちづくり推進委員会、生産組合と連携しながら、イナゴ採りや氷遊び等身近な自然や地域で遊ぶことを再認識してもらった提案を行うことができた。また井土地区で行われたマルシェにも参加し、普及啓発にも取り組んだ。</p> <p>また再開後の重要な役割である震災伝承・防災についても継続して取り組んだ緑化フェアに合わせた防災展示（屋外での展示の強化、屋内では新たに防災グッズの展示）をはじめ、継続実施している防災あずまやの設営訓練については海岸公園馬術場のスタッフも招いて実施し研修の機会とした。その他、学校の教育活動への協力、行政の視察受け入れ等にも取り組んだ。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的を職員が理解し、震災の記憶を風化させないような展示等の自主事業を行っている。また、マニュアル等を整備し、事故防止等のための体制構築を図っている。防災あずまやの設営訓練については、周辺の海岸公園馬術場の職員等と一緒に実施するなど、防災の取組にも力を入れている。</p> <p>夏場には日よけネットを張り日影の増設や、灌水チューブの噴水、手作りプール、ウォータースライダーなど暑くても外で遊べるような仕掛けを行い、小さい子供も遊びやすい環境整備を行った。冬には凧揚げや氷遊びなど、利用者が減少する夏や冬の時期の利用率向上に努めている。また、コロナ禍においても、自由に遊べるように、園内を広く使って遊べるように様々な取り組みを行っている。</p> <p>沿岸部交流施設間で連携した「海の手巡りキャンペーン」、仙台市・名取市の沿岸施設と連携した「名取謎解き時間旅行」、井土地区周辺での「ひろびろとした環境を活かした遊び場」については通年で実施しているほか、井土町内会やまちづくり推進委員会、井土生産組合の協力を受け開催した水田でのイナゴとりイベントや、冬場の氷遊び等、地域資源を活用した昔遊び体験イベント等身近な自然や地域で遊ぶことを再認識してもらった提案を行ったことや、井土地区で初めて開催されたプチマルシェでは、「子どもの遊び場屋台」として遊びのブースで参加し、普及啓発を行い、地域と一緒に様々な取り組みを行っていることは、評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>管理運営を行う冒険広場の範囲を超えて、井土地区全体で「遊び場」を展開したことや、井土地区等の地域のイベントに参加し、普及啓発を行い、地域と一緒に様々な取り組みを行っており、地区全体の交流人口拡大と新たな賑わいを創出している。</p> <p>また、仙台市が施策として掲げる海浜エリア活性化ビジョン 5. 本市の取組の方向性 (3) 様々な「つながり」を大きな「つながり」にも寄与しており、評価できる。</p>

© 評価担当課(施設所管課):建設局百年の杜推進部公園管理課